

令和5年度 美瑛町社会福祉協議会 事業報告

1 地域福祉活動の総合的推進

事業	具体的事業	事業の概要	事業実績
1) 地域福祉対策事業	①小地域ネットワーク活動推進事業	○ふれあい昼食会、ひとり暮らし高齢者訪問活動を通じ、要援護者に対する見守り・声かけ活動を推進する。 ・ふれあい昼食会事業：70歳以上のひとり暮らしの高齢者の方を対象に、民生委員児童委員、福祉推進部長の協力の下、昼食会を実施する。 ・ひとり暮らし高齢者訪問事業：民生委員児童委員協議会と連携し、上記事業への不参加者の訪問活動を実施する。また、訪問先からの課題等への対応。	○ふれあい昼食会(温泉昼食会)を実施。参加者88人、サポートスタッフ等24人 ○一人暮らし高齢者訪問活動 55件訪問(市街地42件、農村部13件) ○生活支援ボランティア活動 31件、ボランティア参加者数9人 ○ひとり親家庭歳末支援 11世帯、対象世帯へ美瑛産米及び商品券配付。
	②地域コミュニティ創造事業 (サロン活動)	○町内会長、民生委員児童委員、福祉推進部長等が共に連携しながら地域福祉活動を行える体制の構築を目指し、関係機関への働きかけを行う。 ○安心キット配布事業：ひとり暮らし高齢者のみならず、高齢者だけの世帯に対しても町内会・福祉関係者の連携による組織的な配布活動を支援する。 また、障がい者への配布についても拡大していく方向で検討する。 ○地域昼食会：町内会主催の昼食会、サロン活動を支援することによりコミュニティ活動の活発化を促す。 ○町内3か所でサロンを開催し、住民主体による介護予防、地域住民の繋がりの拡大を基本方針として地域コミュニティづくりを推進していく。また、町内会や老人クラブの会合等に職員が訪問し、出張サロンを積極的に実施することで地域サロン開設を推進する。	○安心キット配布事業 訪問活動等による配布 25名 (令和5年度末までの配布済総数1,115名) ○地域昼食会 14町内会、参加者336名(内助成対象者237名) ○サロン活動 南サロン(基本毎月第1・3火曜日、福祉センターで 24回開催、スタッフ含めた参加者総数 896人) 北サロン(基本毎月第4火曜日、北区行政区会館で 12開催、スタッフ含めた参加者総数 201人) 東サロン(基本毎月第4木曜日、町民センターで 12回開催、スタッフ含めた参加者総数 229人) 出張サロン(老人会等の要望に応え「ふまねっと」「エルダー」による出張サロンの実施(9件、参加者総数 94人)
	③在宅福祉サービス事業	○一般の交通機関や自家用車での外出が困難な高齢者や障がい者の方に対し引きこもりを予防と高齢者等の生活圏拡大を目的に外出を支援するための送迎サービスを行う。 ○社協ヘルパーによる安否確認訪問を実施し、地域福祉への貢献を図る。	○送迎日数64日、利用者延210人 ○ヘルパーによる安否確認 延82件
	④日常生活自立支援事業	○道社協上川地区事務所との連携の下、福祉サービスの利用援助、日常的金銭管理、書類等の預かりなどをお手伝いする本事業の利用を進め、相談対応や日常生活上の援助を行うとともに権利擁護に関する体制の構築を図る。	○支援員業務の受託契約 9件
	⑤福祉作文事業	○福祉教育の一環として、福祉作文の募集と優秀作品の表彰を実施。	○応募数 小学生262名 中学生65名 計327名
2) 福祉団体関係事業	①ふれあいまつり事業	○共同募金の地域配分金等を活用し、町内関係諸団体と協力し世代・地域を越えた交流等を目的に8月最終日曜日に開催予定。	○8月27日(日)町民センター屋外スペースを会場に開催。 社協コーナー(リサイクルコーナー、共同募金、社協活動紹介)、福祉関係団体等による福祉の広場、各団体活動コーナー、学習発表等 来場者数約2,300人
	②諸団体助成事業	○町内における福祉関係諸団体の活動運営を支援するため、共同募金の地域配分を活用し、地域福祉活動の推進を図る。	○老人クラブ連合会、青少年育成協議会等 9団体へ助成
	③サロン活動支援事業	○町内でサロン活動を実施している団体を支援し、コミュニティづくりの活発化を図る。	○NPOからの助けあい・満天の丘びぼうし・美進ふれあいサロン・アトリエムテ・あすかサロンジジ&ババへ助成

2 相談・支援活動の総合的推進

事業	具体的事業	事業の概要	事業実績
1) 相談事業	①心配ごと相談窓口開設	○日常生活上の各種相談内容に応じ、電話や対面による適切な助言・援助を行う相談窓口を随時開設。	○相談員7人 随時相談受付 相談件数0件
	②結婚相談窓口開設	○結婚に関する相談者に対し、事前受付により相談員による相談対応を随時実施	○相談員6人 随時相談受付 相談受付件数0件(成立一件、進行中一件)
2) 生活支援事業	①福祉資金等貸付事業	○社会福祉金庫の実施 生活に困窮する町民を対象に、緊急に支援するための資金を貸付する。 貸付に当たっては、他のサービス等との調整のうえ貸付を決定する。	○福祉金庫の貸付状況 新規貸付件数 2件 80千円 償還額 169千円 (うち令和5年度貸付分 80千円) 貸付件数残高 3件 125千円
		○生活福祉資金貸付事業(コロナ特例貸付含) 低所得者、身体障がい者世帯、高齢者世帯及びコロナの影響により生活困窮となった世帯等の経済的自立と生活の安定及び再建を目指し、道社会福祉協議会が実施する本事業の周知や貸付相談について、関係機関及び民生委員児童委員等と連携し相談、支援を行う。	○R5年度末現在の貸付件数 8件 貸付残高 5,520千円 ○新型コロナウイルス感染症の影響により休業・失業世帯等の生活の立て直しを図るための資金貸付 ・緊急小口資金貸付件数 25件 貸付金額 4,550千円 ・総合支援金貸付件数 34件 貸付金額 17,334千円
	②福祉倉庫の活用	○寄贈品や家庭で不用となり再利用可能な物品を受け入れ、生活困窮者の支援を行う。	○寄贈品受入…随時 ○生活保護者等への福祉倉庫保管品の貸出、提供
	③助けあい広場掲示板の活用	○福祉センター内に、地域住民が自由に掲示できる助けあい用の掲示板を設置し活用を図る。	○助けあい用掲示板の活用…随時

3 介護保険事業・障害者総合支援事業の推進

事業	具体的事業	事業の概要	事業実績
1) 居宅介護支援事業	①指定居宅介護支援事業(ケアプランの作成)	○要介護認定者が在宅サービスを適切に利用できるようケアプランを作成するとともに、ケアプランに基づいたサービスが提供されるよう、医療機関及び各事業者等との連絡調整を行う。 ○内部及び外部の研修を強化し、介護支援専門員の資質向上を目指す。 ○地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域のつながりや支え合いが強化されるよう社会資源の活用及び開発を推進する。	○人員体制 5人(うち兼務1人) 常勤換算 4.2人 年間延べ利用件数1,393件、介護保険総収入21,901千円(前年度21,402千円)
	②介護予防・日常生活支援総合事業(ケアプランの作成)	○包括支援センターの委託を受け介護予防・日常生活支援総合事業の対象者が在宅サービスを適切に利用できるようケアプランを作成するとともに、ケアプランに基づいたサービスが提供されるよう、医療機関及び各事業者等との連絡調整を行う。	○年間延べ利用件数 832件 受託収入3,719千円(前年度4,352千円)
2) 在宅サービス事業	①訪問介護サービス事業(ホームヘルパーの派遣)	○要支援・要介護者に対し、安定した質の高い訪問介護サービスを提供し、在宅生活の支援を行う。 ○ケアマネ及び他の事業所との連携を深め、サービスの質の向上を目指す。 ○要支援・要介護認定を受けている方を対象とした、旭川への通院介助を支援する移送サービスを行う。 ○ホームヘルプサービスを利用するひとり暮らし高齢者に安否確認訪問を実施し地域福祉の分野への貢献を図る。 ○障害者総合支援法に基づき、身体障がい者、知的障がい者、障がい児、精神障がい者に対し、適正な指定居宅介護サービスを提供し、安定したサービスと質を確保して、在宅生活の支援を行う。 ○職員の資質向上を図るために内部・外部研修の充実を図る。 ○養育支援・ひとり親支援等の多様なニーズに応え、質の高サービスを提供する。	○人員体制 14人 常勤換算 7.9人 (介護) 延べ利用回数3,663回、介護保険総収入15,715千円(前年度17,016千円) (予防) 延べ利用回数1,463回、介護保険総収入7,662千円(前年度7,816千円) ○自立支援等 延べ利用回数 1,190回、総収入 3,800千円(前年度3,512千円) ○養育・ひとり親支援延べ利用回数 118回、総収入 536千円(前年度186千円)

3) 通所サービス事業	①小規模通所介護 (H28年度～地域密着型通所介護へ移行)	○小規模だからこそ出来る個別対応の充実を図り、利用者の求める在宅生活の支援に努める。 ○担当ケアマネ及び各サービス事業者と連携し、質の高いサービスを提供する。 ○サービスを安定的、効率的に提供し、利用しやすい環境整備を図る。	○人員体制 10人 常勤換算 4.85人 延べ営業日数 312日、延べ利用者数2,078人(前年度2,303人)営業日は通年で週6日1日当たり利用者数 6.66人 (前年度7.36人) 介護保険総収入16,483千円 (前年度18,231千円)
-------------	-------------------------------	--	--

4 ボランティア活動の充実

事業	具体的事業	事業の概要	事業実績
ボランティア活動推進事業	①ボランティアセンターの運営	○ボランティア活動の育成・支援・連絡調整 ○ニーズの発掘と活動の拡大・充実 ○ボランティアセンター運営委員会の開催 ○ボランティア登録の普及、拡大	○ボランティアセンター運営委員会(4月、9月)、分科会(随時)の開催 ○近隣市町との交流・各種取組みについての情報交換会を開催(東川町社協 共生プラザそらいろ) ○親子の集い(9月) 参加者36人、サポートスタッフ29人
	②ボランティア活動	○高齢者福祉住宅の窓ガラス清掃(年2回)・福祉センター内外の環境美化活動(2回) ○行政、福祉施設、福祉関係団体主催行事への支援 ○サロン活動やふれあい昼食会等様々な活動への参加協力の推進 ○歳末餅つき交流事業を主催、運営する。 ○ボランティアカフェの開催	○高齢者福祉住宅窓清掃(5月参加者52人・10月参加者33人) ○福祉センター窓清掃(5月参加者6人・10月参加者15人) ○町内の各福祉施設等へ歳末の餅贈呈実施 (高齢者・障がい者等12事業所)
	③災害ボランティア体制	○町と連携し災害発生時の被災者支援を目的とした災害ボランティアセンターの設置・運営に関する体制の検討、整備	○特別セミナー「個人でできる停電への備え」参加者39人(2月)

5 福祉センターの管理等

事業	具体的事業	事業の概要	事業実績
施設管理	①福祉センター管理業務の受託	○指定管理者の指定を受け施設内外の管理及び施設利用受付、利用調整、利用料徴収業務を実施する。	○年間利用者数 6,856人(前年度5,652人) ○会場使用料収入 12件 34,360円 (前年度 9件 20,420円)

6 社会福祉協議会活動・組織の強化

事業	具体的事業	事業の概要	事業実績
1) 社会福祉協議会活動組織強化	①事務局体制の強化	○地域福祉活動強化のため、専門職員を配置し、福祉関係団体・地域住民との連絡調整を密に行う。	○福祉推進部長・民生委員児童委員連合会の実施や各サロン活動及び外出支援事業等の各種事業について、関係者及び関係団体と協力・連携のもと活動の推進に努めた。
	②社協経営基盤強化	○介護保険関係3事業のサービス向上のための職場内研修及び外部研修の充実を図り、経営基盤の強化を図る。	○居宅介護事業所：毎週事業所内会議を開催し、事例検討及び勉強会を実施。 ○訪問介護事業所：毎月事業所内会議を開催し、事例検討及び勉強会を実施。 ○通所介護事業所：毎月事業所内会議を開催。 ○介護従事者確保総合推進事業の補助金によるキャリアパス研修を開催。 10月31日「本人理解～ひもときシートを利用して」講師：宮島 渡氏 参加者29名 11月30日「支える側が支えられるとき」講師：藤川幸之助氏 参加者35名

	③関係各種団体等の連携強化	○行政区、町内会、地域の福祉推進部長及び地域の民生委員児童委員と連携を深め、地域のなかで暮らす人たちが相互に支えあえる取り組みを進める。	○主な行事、総会、会議等への出席(会長) 4月:福祉推進部長・民生委員児童委員連携会議、老人クラブ連合会、民生委員児童委員協議会 5月:青少年健全育成協議会 6月:丘のまちフェスティバル実行委員会、戦没者追悼式、慈光園ふれあい観音祭 7月:上川地方共同募金委員会理事会・評議員会、新生会すずらん祭り、社会を明るくする運動街頭啓発活動伝達式 8月:老連ゲートボール大会 9月:開拓記念式典、老連パークゴルフ大会、市街地敬老会 10月:健康と福祉のまちづくり会議 11月:青少年育成地域懇談会・東川町社会福祉大会・東神楽町社会福祉大会 12月:地域自立支援協議会スポーツ交流会 1月:はたちの集い、少年の主張発表大会 等
2) 役職員の研修等の推進	各種研修事業	○道社協等の主催する研修会等に参加し、役職員の資質向上を目指す。	○道社協主催、会長・事務局長会議(7月) ○上川社協主催、会長・事務局長会議(7月、3月) ○上川地区共同募金委員会研究協議会(8月) ○全道社協職員等連絡会議(9月) ○管内社協職員連絡協議会学習会(9月) ○管内社協職員連絡協議会研修(11月) ○かみかわボラネットスキルアップ研修(11月) ○管内中央部ブロック社協職員研修会(2月)
3) 普及・啓発活動	広報誌(社協だより)の発行	○予算・決算を含め社協及び福祉団体等の活動状況を広く町民に知ってもらうため社協だよりを毎月1回発行する。	○年12回発行

7 理事会・評議員会等の運営

事業	具体的事業	事業の概要	事業実績
1) 理事会の開催	理事会及び部会の開催	○理事会:年に6~7回程度開催 ○三役会、総務部会、地域福祉部会、在宅福祉部会:必要に応じ随時開催	理事会:6月(2回)、8月、11月、2月、3月の6回開催
2) 評議員会の開催	①第1回評議員会 ②第2回評議員会	開催期日:令和5年6月 令和4年度事業報告・決算 開催期日:令和6年3月 令和6年度事業計画・予算	○第1回評議員会 令和5年6月22日 令和4年度事業報告・決算、役員を選任等 ○第2回評議員会 令和6年3月21日 令和6年度事業計画・予算等
3) 監査の実施	定期監査	四半期ごとに年4回実施	6月、8月、11月、3月に実施
4) ボランティア活動への積極的参加	社協主催の各種活動	社協が主催する各種活動に、役員の積極的参加を図る。	○ふれあい昼食会参加 ○ひとり暮らし高齢者訪問活動参加
5) その他会議の開催		福祉金庫委員会、生活福祉資金貸付調査委員会、結婚相談員連絡会議、心配ごと相談員連絡会議等の随時開催	○心配ごと相談員全体会議(4月書面会議) ○福祉金庫運営委員会(5月書面会議)